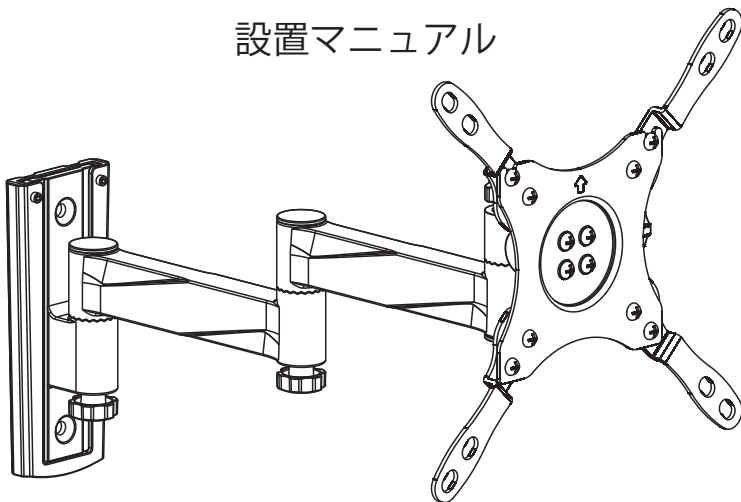


薄型テレビ壁掛け VESA 規格金具
TV セッターフリースタイル

FC112 S

設置マニュアル



この度は、お買い上げいただき誠にありがとうございます。
当商品は、D I Y (日曜大工) が得意な方でしたら、慎重に作業すれば設置可能です。
しかし、組立・取り付けの不備による事故について保証はございませんので、作業に際しましては十分にご注意くださいますようお願い申し上げます。
基本的には、お近くの内装業者・電設業者へ依頼をされる事をお勧めします。



組立不良・取り付け不良、および天災等による事故・損害については、一切の保証はございませんので、ご了承ください。

設置前にテレビと金具の適合を必ずご確認ください。

取り付け前提条件	テレビ背面对応ネジ穴幅	対応テレビインチ	最大テレビ重量
テレビ背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、 テレビ背面がフラットである事	テレビ背面にある壁掛け用ネジ穴の縦横ネジ幅 縦横 75 × 75mm、100 × 100mm、 100 × 200mm、200 × 200mm	26-46 インチ	10kg

設置にあたって：必ずお読みください



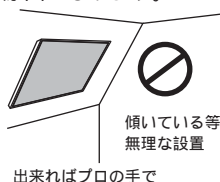
必ず耐荷重強度のある壁や壁裏の間柱（スタッド）にしっかりと設置してください。無理な設置はテレビの落下、大怪我に繋がります。石膏ボード壁のみへの設置はお止めください。

コンクリートやレンガ壁に設置する場合、専門業者に依頼するようにしてください。電源コードや配線にキズを付ける事の無いように注意ください。火災などの原因になります。

設置の際は、テレビや周辺機器の電源をコンセントから抜くようにしてください。

以下の場所には設置をしないでください。落下や怪我、故障の原因となります。

- ・傾いている場所や不安定な場所
- ・人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
- ・運転や視界の妨げとなる場所
- ・湿度や温度の高い場所
- ・テレビの通気が悪い場所（エアコンの側、天井のすぐ側等）
- ・開閉するドアの側
- ・その他、テレビ設置に不適格だと思われる場所



設置にあると便利な道具

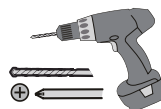
1) 間柱センサー

壁裏にある間柱を見つけるのに便利です。
細い針（検知針）やキリを壁に刺して代用する事も可能です。



2) ドライバー

ネジ頭のサイズに合わせて、数種類があると便利です。



3) ドリルドライバー

電動ドライバーです。壁のネジ穴の下穴を開けるのにも使えます。



4) ペン

壁にネジを打ち込む位置をマーキングします。

5) メジャー

床からの距離を測ったり、金具の水平を取る時などに使用場合があります。

6) 柔らかい布

設置の過程で、床などにテレビを置く事になります。下に敷いてテレビを保護します。

7) 軍手

手を保護します。テレビを持つ時は滑らないように素手が良いかもしれませんが。

さあ、設置・・・の前に

設置前にテレビと金具の適合を必ずご確認ください。

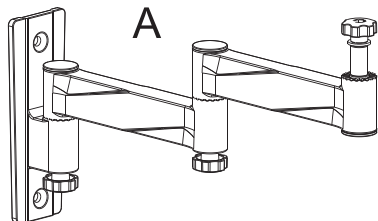
取り付け前提条件	テレビ背面对応ネジ穴幅	対応テレビインチ	最大テレビ重量
テレビ背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、 テレビ背面がフラットである事	テレビ背面にある壁掛け用ネジ穴の縦横ネジ幅 縦横 75 x 75mm、100 x 100mm、 100 x 200mm、200 x 200mm	26-46 インチ	10kg

設置に必要なネジ類は付属しています。しかし壁の状態によっては若干短かめのネジがあると作業がし易い場合があります。その時はホームセンター等でご用意下さい。

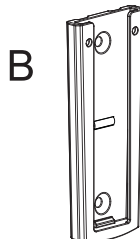
付属部品リスト一覧

以下の部品が全て揃っているかをご確認ください。もし足りない部品がある場合、ご購入店にご連絡ください。

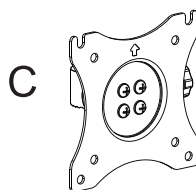
●テレビ金具本体



●壁面プレート - 2 個



●テレビブラケット



●拡張パーツ① - 2 個



●拡張パーツ② - 2 個



F



●拡張パーツ用ネジ
- 8 個

G



●拡張パーツ用ナット
- 8 個

●壁面プレート用ネジ - 2 個



●3mm 六角レンチ - 1 本



●4mm 六角レンチ - 1 本



●ネジパッケージ M (ネジ袋にナンバリングがしてあります)

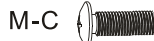
テレビと金具の接合に使用する部品です。全ての部品を使用するわけではありません。



M-A
M4×14mm ボルト
4 本



M-B
M5×14mm ボルト
4 本



M-C
M6×14mm ボルト
4 本



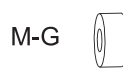
M-D
M8×20mm ボルト
4 本



M-E
M5 ワッシャー 4 個



M-F
M8 ワッシャー 4 個



M-G
スペーサー 8 個

●ネジパッケージ W ×2 (ネジ袋にナンバリングがしてあります)

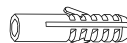
壁に金具を取り付ける際に使用する部品です。全ての部品を使用するわけではありません。

W-A



壁用ラグボルト 5.5×50mm - 2 本

W-B

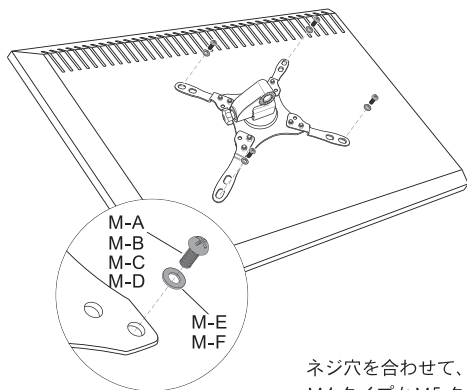


コンクリート壁用アンカー - 2 本

※壁の状態によって、少し短めのネジがあると作業がし易い場合があります。その時はホームセンター等でご相談下さい。

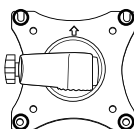
ステップ 1-A

テレビブラケットの取り付け

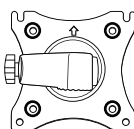


テレビブラケットをテレビに取り付けます。
テレビのネジ穴が VESA75×75mm、100×100mm の場合は、
下図を参考にブラケット [C] を取り付けてください。

VESA100×100mm



VESA75×75mm



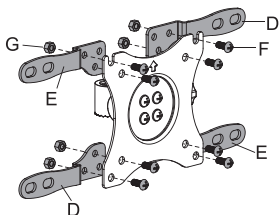
テレビのネジ穴に
合わせて、左図の
ネジ穴を使用して
取り付け下さい。

ネジ穴を合わせて、ネジ [M-A、M-B] とワッシャー [M-E] で取り付けます。
M4 タイプか M5 タイプのどちらか、テレビに合うネジを使用してください。

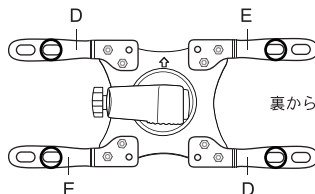
テレビのネジ穴が VESA100×200mm、200×200mm の場合は、拡張パーツ [D、E] を使用して設置します。
下図を参考に拡張パーツをブラケットに取り付けてからテレビにねじ止めてください。



VESA100×200mm



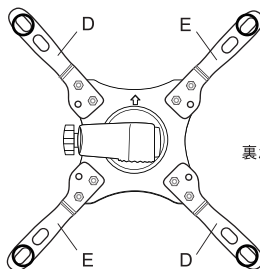
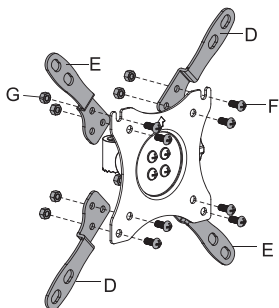
拡張パーツ [D・E] をネジ [F] と
ナット [G] で取り付けます。



裏から見た状態

図のネジ穴を使用し、ネジ [M-A～D] と
ワッシャー [M-E、F] で取り付けます。
テレビに合うネジを使用してください。

VESA200×200mm

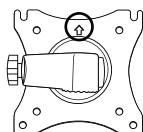


裏から見た状態



ブラケットの上下に注意！

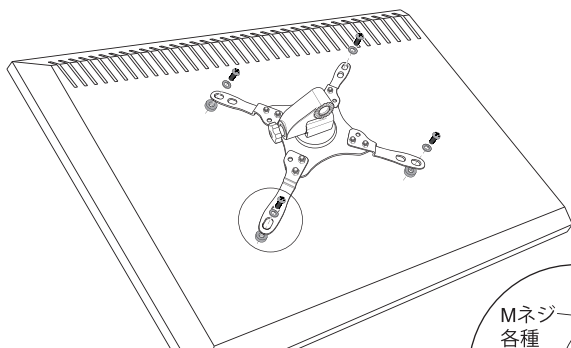
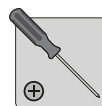
ブラケットには上下があります。矢印が上を向くように取り付けてください。
万一、ネジが合わない場合、取り付け可能テレビ (VESA 規格対応) ではない
ことになります。取り付けできませんので、設置作業を中止してください。



ステップ 1-B

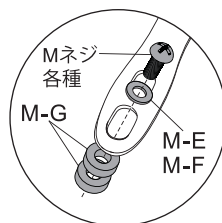
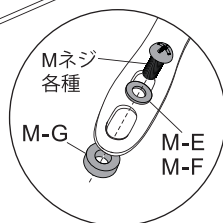
スペーサーの使用について

ネジの長さが余ってしまう場合、テレビ背面に段差がある場合の設置



※各図を参考にネジの長さに合わせて、ワッシャーとスペーサーを組み合わせて取り付けます。

ネジの長さが余って締まる場合や、テレビ背面の段差が金具に干渉する場合、各図を参考にスペーサー [M-G] を挟んで取り付けをします。



ステップ 2

壁構造の確認



ステップ 2「壁構造の確認」、ステップ 3「下穴の開口と壁面への金具の取り付け」は、テレビ壁掛けの最重要ステップです。

取り付けは慎重・確実に作業するようにしてください。

壁面への取付不備による事故・損害、及び施工中に付くキズ・破損等については、一切の保証がありません。

少しでも不安に感じたら、お近くの内装業者・電設業者に相談してください。

● 壁の構造について（必ず耐荷重のある壁への設置を！）

設置は補強のある壁、もしくは壁裏の間柱（スタッド）に行ってください。

石膏ボード壁の場合、ボードのみの部分にネジ打ちする事の無いよう、十分にご注意ください。壁裏の間柱を見つけるにはホームセンター等で売っている壁裏センサー（1500 円程度）やキリを更に細くした検知針が便利です。

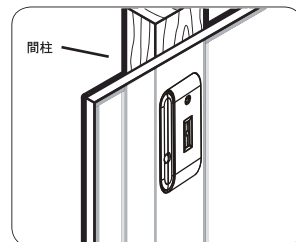
● 間柱を見つけたら

間柱を発見した場合、間柱の「中央」にネジを打つ必要があります。間柱の端にネジを打つと強度が不十分だったり、間柱が割れてしまう事もあるので注意しましょう。詳しくは、センサーや検知針の説明書をご覧ください。

● コンクリートやレンガ壁について

コンクリートやレンガ壁への設置は、難易度が高い施工になります。お近くの内装業者等の専門業者に依頼してください。個人での設置は絶対に行わないようにしてください。

石膏ボード壁は間柱に！



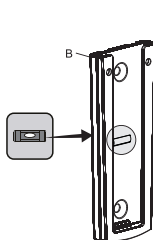
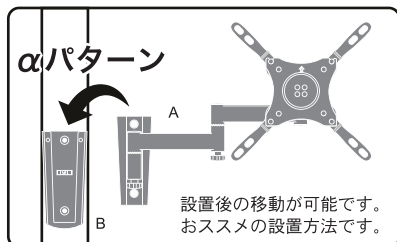
● 一般的石膏ボード壁の場合
壁裏センサーを使用して間柱を見つける。
キリ等を使う場合、何度か刺して柱の中央を見つけましょう。

ステップ 3-A 下穴の開口と壁面への金具の取り付け - α

壁面への金具の取り付け方法は2パターン (α パターンと β パターン) あります。

設置後、移動する場合は α パターンで取り付けてください。

設置後に全く移動しない場合は、 β パターンで取り付けにいただくによりガッチリ設置できます。



間柱に設置を



壁裏センサー

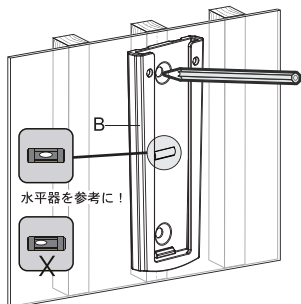


マーキング



壁へのネジ打ち

壁面プレート [B] の水平器は、裏側からはめ込む仕様となっております。壁への取り付け作業前に水平器が右図の位置にはまっているかご確認ください。



1) 設置位置の確定

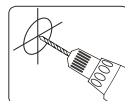
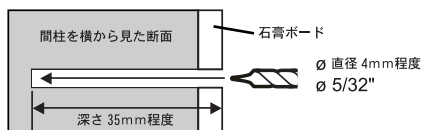
現在の主流である石膏ボード壁の場合、上記を参考に壁裏の間柱 (スタッド) を見つけてください。間柱は一般的に 40 ~ 45 センチ幅で設置されている事が多いようです。ご参考ください。

間柱が確定したら、左図のようにネジ穴にマーキングをします。

2) ネジ打ち用下穴の開口

壁を横から見た断面図 (下) を参考にして、ネジ打ち用の下穴を開けます。電動ドリルがあると便利です。

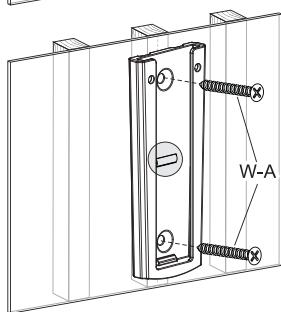
壁にキズをつけますので、慎重に作業を行ってください。



下穴は真っ直ぐに開けるよう注意を

3) 金具の壁面への取り付け

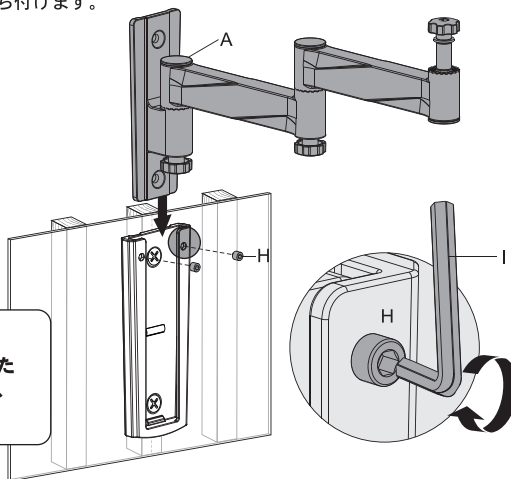
左図を参考に 5.5×50mm ラグボルト [W-A] を使用して金具を壁面にしっかりと打ち付けます。



4) テレビ金具本体 [A] の取り付け

右図を参考に壁面プレート [B] に差し込みます。

壁面プレート用ネジ [H] を使用し、3mm 六角レンチ [I] でキッチリ留めてください。

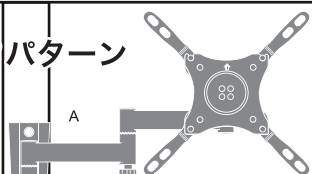


ご注意

最重要ポイント
ネジ打ち後、少しでも違和感を感じたら (ネジの空効き等) 設置を中断し、専門業者に相談してください。

ステップ 3-B 下穴の開口と壁面への金具の取り付け

βパターン



設置後の移動はできません。
よりガッチリ設置できます。



間柱に設置を



あると便利



あると便利



マーキング



壁へのネジ打ち

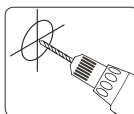
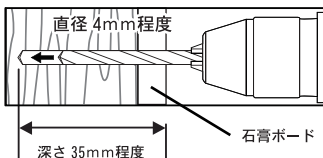
※βパターンの取り付けでは、水平器を使用する場合、
別途ご用意ください。

1) 設置位置の確定

現在の主流である石膏ボード壁の場合、ステップ2を参考に
壁裏の間柱（スタッド）を見つけてください。間柱は一般的
に40～45センチ幅で設置されている事が多いようです。
ご参考ください。間柱が確定したら、左図のようにネジ穴に
マーキングをします。

2) ネジ打ち用下穴の開口

壁を横から見た断面図（下）を参考にして、ネジ打ち用の
下穴を開けます。電動ドリルがあると便利です。壁にキズを
つけますので、慎重に作業を行ってください。



下穴は真っ直ぐに
開けるよう注意を

3) 金具の壁面への取り付け

左図を参考に5.5×50mmラグボルト[W-A]を使用し金具
を壁面にしっかりと打ち付けます。



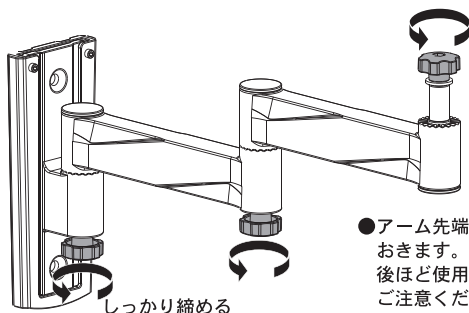
ご注意

最重要ポイント

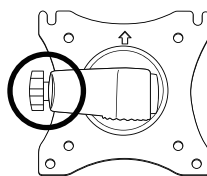
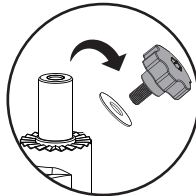
ネジ打ち後、少しでも違和感（ネジの空動き等）を
感じたら設置を中断し、専門業者に相談してください。

ステップ 4 ブラケットと本体組み立ての準備

- 下図のように、アーム各関節部のノブを、ブラケットと本体の組み立て時に
動かないようしっかりと締めて固定してください。



- アーム先端のノブとワッシャーは外して
おきます。外したノブとワッシャーは
後ほど使用しますのでなくさないよう
ご注意ください。



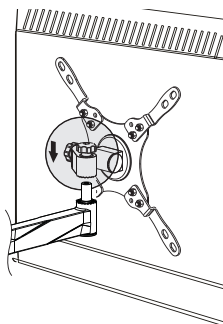
ステップ1でテレビに
取り付けたブラケット
は動くと危険ですので、
真っすぐの状態に固定
しておいてください。

ステップ 5

テレビブラケットと金具本体の組み立て

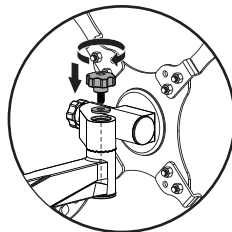


二人での
作業を推奨



●左図を参考に、テレビに取り付けたブラケットを壁に取り付けた金具本体【A】のアーム先端に落とし込みます。安全のため、テレビは二人で持って作業してください。

●右図を参考に、ステップ4で外したノブとワッシャーを再度差し込みます。左右の角度を決めて、ノブをしっかりと締めます。ノブを締めるまでは落下の危険がありますので、一人はテレビを支えるようにしてください。



ステップ 6

角度調節について

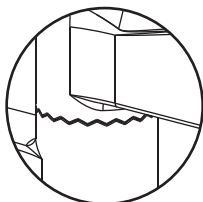
各関節部のノブを緩めることで角度の調節が可能です。角度を決めたら必ずノブを締めてください。



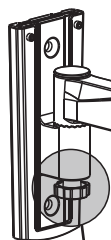
ご注意

角度を固定した状態で無理に動かすと壁、各接続部、アーム等に大きな負荷がかかり危険です。調節の際は必ずノブを緩め、調節後はしっかりと締めてください。

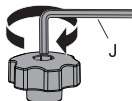
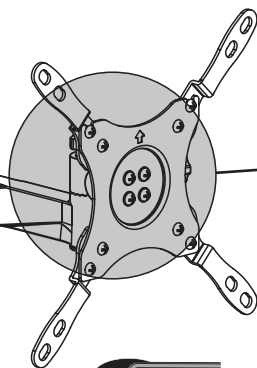
ノブは一回転で十分緩みます。緩めすぎると各関節部が外れ、落下する危険性がありますので、一回転以上緩めないようにしてください。



アーム関節部の構造上、テレビの重みによって左右に動かし難い場合があります。その場合は、モニターを支えながら動かすようにしてください。



各アーム部の首降り
角度調節が可能

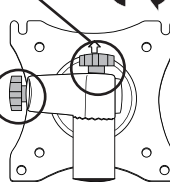


手でノブを固定した後、六角レンチ【J】でしっかり締めることで、より強固にロックがかかります。

左右首降り
角度調節が可能



チルト（傾き）
角度調節が可能



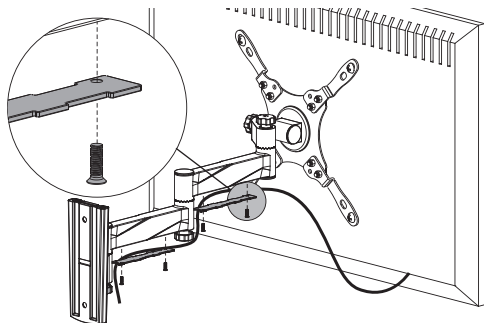
ステップ 7

配線処理について

アーム部の下側は配線を通せるようになってます。
右図を参考に配線処理を行ってください。

1. ネジとホルダーを外す
2. 配線を通す
3. ホルダーとネジを取り付ける

配線は細いもので3～4本程度、
太いものは1～2本程度までで、
適度に余裕をもってご利用ください。



ステップ 8

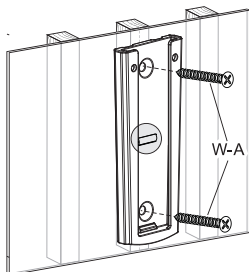
テレビの移動について



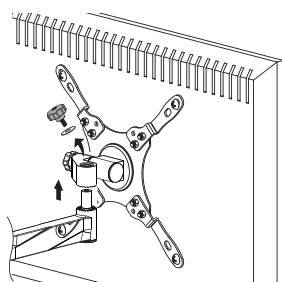
二人での
作業を推奨

αパターンで取り付けした場合、設置後にテレビの移動が可能です。
本商品には、壁面プレート[B]が2枚付属しており、
3-Aで取り付けた場所の他にもう一か所、別の場所へ取り付けが可能です。

- ステップ3-Aと同じ手順で
壁面プレート[B]を
壁に取り付けてください。

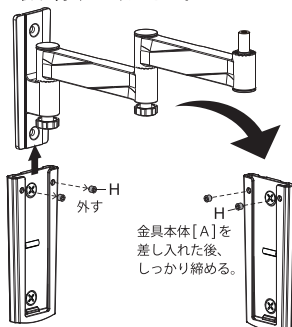


- ステップ5の逆の手順で、
テレビを取り外してください。



※配線は抜くかコードホルダーから
外してください。

- 金具本体[A]を移動してください。
ステップ4～6を参考にテレビを
取り付けてください。



ステップ 9

最終確認

各取り付け部分や壁面部にがたつき等がないか、チェックしてください。緩みがあった場合はしっかりと締めなおしましょう。少しでも違和感があった場合は、テレビを一旦取り外し専門業者に相談して下さい。これらのチェック作業は3カ月程度を目安に定期的に行い、経年使用による落下等がないように注意してください。



キャンピングカー等に取り付ける場合のご注意

使用しないときは壁に寄せて固定するなど、予期せぬ振動によりテレビや金具にぶつかることがないように十分ご注意ください。また、運転や視界の妨げとなる場所には取り付けないでください。危険ですので、ぶら下がったり体重をかけたりしないでください。
取り付け・取扱いの不備による事故・損傷などは、当社は一切の責任を負いませんので、予めご了承ください。